

自転車競技法が改正 創設された還付金制度を有効活用 施設整備等で来場者数拡大図る



平塚競輪場(湘南バンク)

議員 近年、本市の競輪の売り上げは落ち込んでいたが、(財)日本自転車振興会への交付金や公営企業金融公庫への納付金などが、さらに競輪経営を圧迫していると考え、交付金の引き下げ活動の成果を聞きたい。

公営事業所長 一号から三号までの交付金のうち、要望していた二号交付金(体育、その他公益事業

の振興)の廃止には至らなかったが、全国競輪主催地議会議長会等四団体による陳情活動が実り、平成十九年六月十三日に自転車競技法が改正され、新たに交付金を財源とする還付金制度が創設された。この制度は、一号交付金機械工業への振興と、二号交付金の合算額の三分の一を上限に、競輪事業の活性化へつな

る投資に交付金の一部を還付するものである。
議員 今年度、還付される金額はどの程度と想定しているのか。

公営事業所長 還付申請した金額が認められることになれば、三億六〇〇〇万円余りである。

議員 還付金は有効に活用しなければならぬが、使途についてどのように考えているのか。

公営事業所長・事業課長 この還付金は施設整備等により活性化を図るために活用すべき旨が国から示されているため、平塚市競輪事業基金に組み

入れて施設整備等を行い、来場者数の拡大を図る考えである。

「地方公営企業等金融機構」の設立へ
議員 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」に基づき、公営企業金融公庫が平成二十年十月に廃止される予定となっているが、公営企業金融公庫納付金は、今後、どのようなになるのか。

公営事業所長 地方公共団体が共同で、新たに地方公共団体共同出資法人「地方公営企業等金融機構」を設立する。公営企業金融公庫の所有している一切の権利・義務は、この新たな金融機構が承継することとなる。

入場料は今後も徴収
議員 今後、入場料を無料にする考えについて聞きたい。

事業課長 南関東で構成する八競輪場の協議の中では、治安の維持と来場者へのサービスの低下を防止するため、入場料の徴収を継続して行うこととしている。

都市政策部長 昇降機の安全な運行を図るため、その管理者または所有者は設置の翌々年度から毎年一回、一級建築士や昇降機検査資格者等による

建築物の安全担保へ 本市独自の表示制度の実施を

本審査を行っている。
議員 建築物の安全を担保するうえで、昇降機や建築設備を含めた建築物に対する市独自の安全評価の表示制度の実施を検討すべきではないか。

議員 平成十九年十月、市内の物販店で小学生がエスカレーターの手すり

都市政策部長 実際の検査・点検は、民間の昇降機検査資格者等が行うため、その報告を受ける特定行政庁側が安全評価の表示を行うことが適切かどうか検討の余地がある。

議員 昇降機の所有者・管理者による「定期検査・報告」義務はどのようなものか。

環境部長 県を通じ、県内他市で受け入れが可能かを確認した。プラクルについては自治体によって処理の純度が異なるという問題もあり、また横須賀以外の市は受け入れが不可能とのことだった。

議員 今回の事故を受け、今後の対応と対策について聞きたい。

議員 平成十八年六月の消防組織法の改正を受け、県が主催する「神奈川県市町村の消防の広域化に関する検討懇話会」において二六の消防本部を七ないし九に統合する三つの再編案がまとめられた。消防組織の広域化のメリットを聞きたい。

議員 隣接する市境での災害時に現場への到着

議員 広域化は、消防体制の強化につながると考えているのか。

議員 総務や通信指令部門が統合され、組織や

リサイクルプラザで火災 復旧までのプラクル等の処理方法聞く

ラザは、十六年度から稼働している。この施設で平成十九年十一月二十三日に火災が発生したが、施設の現在の状況について聞きたい。

環境部長 事務棟は、すでに一部使用できない状況にある。工場棟は、二階全面が火災による煙

とすず、電気設備の損傷などにより使用できない状況にあり、またプラントにおいては火元となったプラクル(プラスチック製容器包装類)を受け入れるホッパーや処理ラインが火災熱により損傷を受けており、瓶・缶等の処理ラインも、すず、電気設備の損傷により運転が停止している。

議員 施設の全面復旧までの間、ペットボトルやプラクルはどのように処理するのか。

環境部長 ペットボトルについては、当面大磯町で受け入れてもらい、資源化する処理を要請していく。プラクルについては、環境事業センターの隣接地に仮設処理場を設置し、民間事業者に破袋、圧縮処理を依頼し、従来の指定法人ルートで資源化するなど、資源物ごとに処理を分散して対応し

安心・安全なまちづくり 警察・地域との連携を強化

議員 「市民の生命・財産を守る」という観点から、本市における「安心・安全」の現状をどう把握し、認識しているのか。

防災安全部長 本市の犯罪の特徴は、自転車・バイクの盗難が多いことである。また、自転車による交通事故多発地域に指定されている。これらの犯罪や事故を抑止し、減

少させることが「安心・安全」のまちづくりを進めるうえで急務であると考えている。

議員 犯罪の抑止や交通事故の減少に向け、現在どのような取り組みを行っているのか聞きたい。

防災安全部長 平塚警察署や平塚市防犯協会と連携し、各種の啓発キャンペーンや取り締まり、地

域パトロールを実施して犯罪の抑止に努めている。また、交通事故の減少に向け、市・警察・各種団体で組織する交通安全対策協議会を中心に各種運動等を展開している。

議員 今後、どのような考え方で施策を推進していくのか。

防災安全部長 警察、地域との連携を強め、市民の協力を得ながら、犯罪の抑止や交通事故の減少に努め「安心・安全なまち平塚」を実現していきたいとのことだった。

域パトロールを実施して犯罪の抑止に努めている。また、交通事故の減少に向け、市・警察・各種団体で組織する交通安全対策協議会を中心に各種運動等を展開している。

議員 今後、どのような考え方で施策を推進していくのか。

防災安全部長 警察、地域との連携を強め、市民の協力を得ながら、犯罪の抑止や交通事故の減少に努め「安心・安全なまち平塚」を実現していきたいとのことだった。

域パトロールを実施して犯罪の抑止に努めている。また、交通事故の減少に向け、市・警察・各種団体で組織する交通安全対策協議会を中心に各種運動等を展開している。

議員 今後、どのような考え方で施策を推進していくのか。

防災安全部長 警察、地域との連携を強め、市民の協力を得ながら、犯罪の抑止や交通事故の減少に努め「安心・安全なまち平塚」を実現していきたいとのことだった。

域パトロールを実施して犯罪の抑止に努めている。また、交通事故の減少に向け、市・警察・各種団体で組織する交通安全対策協議会を中心に各種運動等を展開している。

議員 今後、どのような考え方で施策を推進していくのか。

防災安全部長 警察、地域との連携を強め、市民の協力を得ながら、犯罪の抑止や交通事故の減少に努め「安心・安全なまち平塚」を実現していきたいとのことだった。

域パトロールを実施して犯罪の抑止に努めている。また、交通事故の減少に向け、市・警察・各種団体で組織する交通安全対策協議会を中心に各種運動等を展開している。

域パトロールを実施して犯罪の抑止に努めている。また、交通事故の減少に向け、市・警察・各種団体で組織する交通安全対策協議会を中心に各種運動等を展開している。

議会 日誌



- 11 7 議員全員協議会
- 11 20 議会運営委員会
- 11 27 定例会議会初日
- 12 6 議会運営委員会
- 12 7 定例会議会二日目
- 12 10 定例会議会四日目
- 12 11 議会運営委員会
- 12 13 総務経済常任委員会
- 12 13 都市建設常任委員会
- 12 14 総務経済委員協議会
- 12 14 環境厚生常任委員会
- 12 20 教育民生常任委員会
- 12 20 議会運営委員会
- 12 27 定例会議会最終日
- 1 21 議会報編集委員会